

令和元年度(2019)「環境アセスメント士」認定資格試験問題
＜専門科目Ⅰ－1:業務経験＞(記述式)

(問題解答上の注意事項)

- ・「専門科目Ⅰ－1」の問題は、「生活環境部門」、「自然環境部門」共通です。
- ・各設問に従って所定の文字数以内で、解答用紙に記述してください。
- ・試験時間は10:00～12:00です。

※ 指示があるまで、問題用紙を開かないで下さい。

＜専門科目Ⅰ-1 業務経験＞ 問題

1. あなたが選択した専門部門に関し、実際に体験した環境アセスメント業務の事例を3つ挙げ、その概要を記述しなさい。
(600字以内、解答用紙 1/4頁に記述のこと)

2. 上記3業務のうち1つを選び、下記の事項について、それぞれ記述しなさい。
 - (1)業務の詳細とあなたの役割
 - (2)業務実施上の問題点とその対応策
 - (3)現時点での評価(1,200字以内、解答用紙 2/4～3/4頁に記述のこと)

3. 最近、法や条例の対象外の事業について、スモールアセス(自主アセス・ミアセス)が実施されているが、スモールアセスの意義や課題について述べなさい。
(600字以内、解答用紙 4/4頁に記述のこと)

以 上

【参考】

専門科目 I-1 業務経験は、1番目の、3つの実例の列挙と、2番目の、経験内容の記述は、毎年変わりません。

3番目の問題は、最近の話題や重点課題となっているような事象についての記述問題となっております。参考として、過去4年分の問題を掲載致します。

(平成27<2015>年度)

3. 「環境影響評価法」の環境影響評価項目のうち、調査・予測・評価の対象となる環境要素を全て列挙しなさい。そのうち1つの環境要素を選び、現状での調査方法、予測手法、評価方法について、問題点や課題などを記述しなさい。

(平成28<2016>年度)

3. 「環境影響評価法」において環境保全措置を検討する際、留意すべき事項を3つ挙げ、その問題点と課題について述べなさい。

(平成29<2017>年度)

3. 「環境影響評価法」に基づく基本的事項(改正)における手続きに際し、各手続き段階で作成される図書を時系列に示し、それぞれの重点的な記載事項を記述しなさい。

(平成30<2018>年度)

3. 「環境影響評価法」における事後調査の必要性和、実施上の留意点について、具体的に述べなさい。

以上